

2021年（令和3年）8月26日 木曜日（先勝）

日刊工業新聞

ニュース

動画

特集・連載

マイページ

Journagram

総合1 総合2 総合3 マネジメント モノづくり 自動車 機械・ロボット・航空機1 機械・ロボット・航空機2
 素材・医療・ヘルスケア1 素材・医療・ヘルスケア2 建設・生活・環境・エネルギー 金融 商品市況 科学技術・大
 新型コロナ支援 東日本 西日本 深層断面 特集・広告 業界展望台 企業リリース 人事・機構改革 マイニ

全国主要見本市・展示会一覧

地球環境・SDGs特設サイト



コロナ禍でも日本市場で躍進する 台湾スマート機械メーカー4選

2021台湾産業最新

トップ > 西日本 > 記事詳細

小 中 大

東亜電機製作所 スマートグラス 定額制 新事業

東亜電機製作所、スマートグラス定額制で提供 新事業第1弾

ツイート シェア0 LINEで送る

(2021/8/20 05:00)



新事業の第1弾と位置付けるスマートグラス

東亜電機製作所（大阪市淀川区、水野宏之社長）は米ピュージックスの代理店となり、同社製スマートグラスの販売を始めた。工場、工事、医療の現場作業や作業トレーニングなどの用途に向け安価なサブスクリプション（定額制）形式で提案し、使用設定などのサポートも手がける。新たな事業として始め、年間契約100件を目指す。

ピュージックス製のスマートグラスを遠隔作業支援用に機能を絞る仕様に設定した。顧客の使用目的に合わせ使えるよう整える。サブスクリプション形式の3年契約として、初期費不要・消費税抜きで月額3万5000円。機能によっては数十万円と高額なスマートグラスに対し、導入しやすい価格で需要を開拓する。

立体駐車場を維持管理する遠隔監視の用途などで、これまで数件受注した。水野社長は「スマートグラスは（手持ち不要の）ウェアラブルで情報を閲覧したり遠隔支援できたりするので現場作業が容易になる。費用負担の小さい月額を訴求したい」と強調する。

東亜電機製作所は制御盤メーカーで、大手企業の生産設備などに納めている。工場の自動化ニーズから受注を維持しているが、特定の顧客に依存度が高い経営課題がある。

共催：FA Products EPSON EXCEED YOUR VISION

製造業DXの課題と展望

製造業のDXとは今何から始めればよいのか

参加費無料 9/8 10:30-12:00

【事前申し込み制】

天野 真也 氏
Team Cross FA

スマートグラスの販売を始めたのは、取引先商社が扱っていたことから着目し、作業の負担低減に役立ち成長する商品と見込んだのがきっかけ。「新事業の第1弾と位置付け、経営を活性化したい」（水野社長）考えた。